

第1号議案

2022年度事業報告

- 1 事業の成果 路上生活者及び生活困窮者等の自立支援に関する活動、地域住民に対する路上生活者等についての啓発活動、路上生活者の健康維持のためのパトロール活動、他団体との連携に関する事業のいずれも着実に実施することができた。

2015年度からは、相模原市と協定を結び、シェルター3室を確保して相談・訪問事業を実施し、各区の生活支援課や子育て支援センター等とも連携を密にしながら、多くの路上生活者や生活困窮者等の自立につなげる活動を行うことができた。生活困窮者の中には、支援を必要とする高齢者やDV被害者、心身障がい者などのほか、外国籍の住民も含まれる。

新型コロナウイルス感染の影響は、シェルター運営やパトロール活動にはさほどの支障はなかったが、市民向けの学習会は中止となり、元シェルター利用者等を招いての食事会も中止となった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 路上生活者及び生活困窮者の自立支援に関する活動

ア アパート入居等支援

- ・内 容 各区生活支援課との連絡、不動産会社の手続き、引越し手伝い等
- ・件 数 29件
- ・従事者人員 1回3人～5人
- ・対 象 者 路上生活者及び生活困窮者
- ・支 出 額 52,208円

イ 相談、訪問事業

○相談室の運営、ケースカンファレンス（市との協定事業）

- ・内 容 相談室の運営、ケースカンファレンスの実施
- ・件 数 対面相談 57件 電話相談（相談室）203件 電話相談（携帯）443件
ケースカンファレンス 12回
- ・日 時 毎週月曜日～金曜日、ケースカンファレンスは毎月第4土曜日
- ・場 所 相談室ほか
- ・従事者人員 11人
- ・対 象 者 路上生活者、生活困窮者、シェルター入居者等
- ・支 出 額 2,458,034円

○相談員等学習会

その1

- ・内 容 「DVを受けた人への接し方」を開催
講師：日本キリスト教婦人矯風会 女性の家 HELP 坂間治子主任支援員
- ・日 時 2022年8月27日
- ・場 所 翠ヶ丘教会2階ホール
- ・対 象 者 相談員及び木パト会員
- ・参 加 者 14人
- ・支 出 額 36,000円

その2

- ・内 容 「外国人相談ボランティア研修会」を葦の会他関係団体と共に実施
講師：指宿昭一弁護士
- ・日 時 2023年3月25日
- ・場 所 さがみはら国際交流ラウンジ
- ・対 象 者 各団体の相談員
- ・参 加 者 約50人（うち木パトから4人）
- ・支 出 額 20,000円

ウ アパート入居者訪問

○入居者訪問（市との協定事業）

- ・内 容 アパート入居後の状態について話を聞き、必要に応じて高齢者支援センター及びその他関係部署に繋ぐ等の生活支援をした。
- ・日 時 随時
- ・場 所 入居者宅、病院など
- ・従事者人員 10人
- ・対 象 者 アパート及びグループホーム等入居者など、延べ543件
- ・支 出 額 929,737円

○食事会等

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

エ 「シェルター木パト」の運営（市との協定事業）

- ・内 容 シェルター3室の運営
- ・日 時 随時

- ・場 所 アパート3室（他2室を随時使用）
- ・従事者人員 16（相談員11人、掃除班4人、警備1人）
- ・対 象 者 路上生活者及び生活困窮者 33人（+子ども5人）
- ・支 出 額 3,615,433円

② 地域住民に対する路上生活者についての啓発活動

ア 市民向け学習会は、新型コロナウイルス感染予防のため、中止した。

イ その他の啓発活動

その1

- ・内 容 ニュースレターNo. 26、No. 27 発行
- ・日 時 2022年6月1日 No. 26、2022年12月1日 No. 27
- ・場 所 木パト事務所
- ・従事者人員 7人
- ・対 象 者 一般市民
- ・支 出 額 67,260円

その2

- ・内 容 ホームページの運営
- ・日 時 年間
- ・従事者人員 1人
- ・対 象 者 生活困窮者 一般市民
- ・支 出 額 26,767円

③ 路上生活者の健康維持のためのパトロール活動

ア 路上生活者訪問

- ・内 容 路上生活をしている方々を訪問して健康状態等の話を聞いた。（持参品: おにぎり、スープ、インスタントラーメン、バナナ、みかん、菓子、果物ジュース、毛布、下着、上着、靴、寝袋、カイロ等）
- ・日 時 毎月第2・第4木曜日 21時00分から相模原班、22時15分から相模大野班
- ・場 所 相模原班: JR相模原駅他
相模大野班: 相模大野駅、ポーノ相模大野他
- ・従事者人員 延べ約240人
- ・対 象 者 路上生活者（延べ約150人）
- ・支 出 額 34,969円

イ 炊き出し及び訪問物資の調達

- ・内 容 おにぎり、豚汁、ゆで卵、バナナ、下着、マスク、日用品などを準備
- ・日 時 毎月パトロール時
- ・場 所 翠ヶ丘教会台所で調理
- ・従事者人員 毎回3～6人
- ・支 出 額 122,563円

④ 路上生活者に関する調査・研究

ア 全県夜回りパトロール交流会

- ・内 容 神奈川県下のパトロール団体のメンバーとの情報交換
- ・日 時 隔月1回
- ・場 所 各地持ち回り
- ・従事者人員 毎回1～4人
- ・対 象 者 他団体、一般市民
- ・支 出 額 3,262円

⑤ その他

- ・毎週、近くの八百屋さんのご好意でいただいた野菜や果物を、シェルター入居者、アパート入居者等に提供
- ・毎月5日 「こめんず」から提供を受けた食品等を、シェルター入居者、アパート入居者等に提供
- ・社会福祉協議会から提供された保存食サポートセット、パンの缶詰、ビスケット、フードコミュニティから提供された非常食ライスなども、提供した
- ・相模中央キリスト教会社会委員会からの「分かち合い」の食品等をアパート入居者等へ届けた。シェルター入居者にも提供した
- ・市生活福祉課。コロナウイルス対策課から提供された、布団・枕・カバー一式、座卓・座椅子を、希望するアパート入居者に届けた。シェルターの居室でも使っている。

以 上